

古文 係助詞「ぞ・なむ・や・か・こそ」識別 100題ドリル | 無料PDFと解答付き 解答・解説編

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

- Q1. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「咲く」（強調） 解説：「花が咲くのだ」。
- Q2. 答え：係助詞「なむ」＋連体形「照る」（強調） 解説：「月こそ清く照る」。
- Q3. 答え：係助詞「や」＋連体形「鳴く」（疑問） 解説：「鳥が鳴くのか」。
- Q4. 答え：係助詞「か」＋連体形「思ふ」（疑問） 解説：「あなたは思うのか」。
- Q5. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「安けれ」（強調） 解説：「心こそ安らかなのだ」。
- Q6. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「来たる」（強調） 解説：「春が来たのだ」。
- Q7. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「侍れ」（強調） 解説：「やはり私こそ思います」。
- Q8. 答え：係助詞「や」＋連体形「降る」（疑問） 解説：「雨が降るのか」。
- Q9. 答え：係助詞「か」＋連体形「む」（疑問） 解説：係助詞「か」（疑問）＋形容詞「安し」未然形「安から」＋推量「む」連体形（「か」の結び）。「どんな人が心安らかであろうか」。文末の「む」が連体形になっているのは係助詞「か」の結び。
- Q10. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「隠るれ」（強調） 解説：「月こそ雲に隠れるのだ」。
- Q11. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「知る」（強調） 解説：「私こそが知っているのだ」。
- Q12. 答え：係助詞「なむ」＋連体形「さへづる」（強調） 解説：「鳥がさえずる」。
- Q13. 答え：係助詞「や」（疑問） 解説：「花が散ったか、まだか」。結びは省略。
- Q14. 答え：係助詞「か」＋連体形「む」（疑問） 解説：「誰が来るのだろうか」。
- Q15. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「深けれ」（強調） 解説：「山こそ深いのだ」。
- Q16. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「出づる」（強調） 解説：「鶯が鳴き始めるのだ」。
- Q17. 答え：係助詞「や」＋連体形「強き」（疑問） 解説：「風が強いか」。
- Q18. 答え：係助詞「か」＋連体形「む」（疑問） 解説：「何が良いだろう」。
- Q19. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「あはれなれ」（強調） 解説：「春こそとても趣あるのだ」。
- Q20. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「待つ」（強調） 解説：「月の出るのを人が待つのだ」。

【第2部】標準編 (Q21～Q50)

- Q21. 答え：係助詞「やは」＋連体形「惜しき」（反語） 解説：「命など惜しいだろうか、いや惜しくない」。「やは」は反語性が高い。
- Q22. 答え：係助詞「かは」＋連体形「忘れぬる」（反語） 解説：「思う事を忘れただろうか、いや忘れない」。
- Q23. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「よからめ」（逆接的） 解説：「こそ〜め、」と文中で切れて逆接。「物言わないのが良いだろうが、人を見ると言う」。
- Q24. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「ける」（強調） 解説：「ここに書いたのだ」。
- Q25. 答え：終助詞「なむ」（願望） 解説：未然形「咲か」＋「なむ」（願望）。「早く花が咲いてほしい」。係助詞ではない。引っかけ。
- Q26. 答え：係助詞「なむ」＋連体形「ける」（強調） 解説：「男がいたのだ」。

- Q27. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「ある」（疑問風強調） 解説：「私の思う人は誰なのだ」。
- Q28. 答え：「やは」反語＋連体形「かくるる」 解説：凡河内躬恒。「香までは隠れるだろうか、いや隠れない」。
- Q29. 答え：係助詞「か」＋連体形「ける」（疑問） 解説：源氏物語冒頭。「いつの帝の御代であったか」。
- Q30. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「なる」（強調） 解説：係助詞「ぞ」（強調）＋断定「なり」連体形「なる」（「ぞ」の結び）＋引用「と」＋四段「言ふ」終止形。「春はあけぼの（が最高）だ、と古人は言う」。係助詞「ぞ」の結びは連体形。
- Q31. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「ひらく」（強調） 解説：「梅が開くのだ」。
- Q32. 答え：係助詞「や」＋連体形「あらぬ」「ならぬ」（反語） 解説：在原業平。「月は昔の月ではないのか、いや違う」。
- Q33. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「見れ」（強調） 解説：「雪がとても深く降ったのを見たのだ」。
- Q34. 答え：係助詞「か」＋連体形「思ひ給ふ」（疑問） 解説：「どうしようと思ひになるのか」。
- Q35. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「ける」（強調） 解説：百人一首・大江千里。「秋が来たのだ」。
- Q36. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」（係助詞ではない） 解説：連用形「出で」＋「な」（「ぬ」未然）＋「む」。「鳴き出してしまうだろう」。引っかけ。
- Q37. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「帰る」（強調） 解説：「鳥が時に帰るのだ」。
- Q38. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「けれ」（文中逆接） 解説：係助詞「こそ」＋四段「散る」連用形「散り」＋過去「けり」已然形「けれ」（「こそ」の結び）。「花は散ったけれど、若葉は生えるのだ」。文中の「こそ～已然形」は逆接的なニュアンスを生む。「散れ」（已然形と命令形が同形）の曖昧さを「けれ」で明確化。
- Q39. 答え：係助詞「や」＋連体形「ある」（疑問） 解説：「思う事があるのか」。
- Q40. 答え：係助詞「か」＋連体形（疑問） 解説：「知らずに過ごすのか」。
- Q41. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「思ふ」（強調） 解説：「しみじみと思うのだ」。
- Q42. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「よけれ」（強調） 解説：「私の家の梅こそが良いのだ」。
- Q43. 答え：係助詞「や」（疑問・結びの省略） 解説：「知らないのか」。
- Q44. 答え：係助詞「か」＋連体形「行く」（疑問） 解説：「どちらへ行くのか」。
- Q45. 答え：終助詞「なむ」（願望） 解説：未然形「あは」＋「なむ」。「人と会いたい」。伊勢物語の有名な歌。係助詞でないので注意。
- Q46. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「をかしき」（強調） 解説：「だいたい月が趣あるのだ」。
- Q47. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「寒けれ」（強調） 解説：「風こそが寒いのだ」。
- Q48. 答え：係助詞「や」（疑問の並列） 解説：「鳴くのか鳴かないのか」。
- Q49. 答え：係助詞「かは」＋連体形「べき」（反語） 解説：「嘆いたとて世が変わるだろうか、いや変わらない」。
- Q50. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「乱るる」（強調） 解説：「心が乱れるのだ」。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「ける」（強調） 解説：源宗子。「冬こそが寂しさが増すのだ」。
- Q52. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「ね」（逆接） 解説：「人は見えないけれど」（逆接）。
- Q53. 答え：係助詞「やは」＋連体形「思はする」（反語） 解説：西行。「月が嘆かせるだろうか、いや違う」。

- Q54. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「忘るれ」（強調） 解説：副詞「いかに」＋係助詞「こそ」＋下二段「忘る」已然形「忘るれ」（「こそ」の結び）。「いかに」はここでは程度を表す副詞で、「どんなにか世の憂きことを忘れることだ」と強調する訳になる。「こそ～已然形」の典型的係り結び。
- Q55. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「まし」（反実仮想と強調） 解説：「恋しい人が寄って見るだろうに」（反実）。
- Q56. 答え：完了「ぬ」未然＋意志「む」（係助詞ではない） 解説：連用形「見」＋「な」＋「む」。「月を見てしまおう」。
- Q57. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「をかしけれ」（強調） 解説：枕草子の本来の形。
- Q58. 答え：係助詞「や」（疑問）／「らむ」の連体形が結び 解説：「春も過ぎてしまったのだろうか」。
- Q59. 答え：係助詞「か」＋連体形「思ふ」（疑問） 解説：「何を思うのか」。
- Q60. 答え：係助詞「こそ」（結びの省略） 解説：「(をかしけれ)」が省略されている。
- Q61. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「良ろしき」（強調） 解説：「この歌が良い」。
- Q62. 答え：（参考）反実仮想「まし」 解説：係り結びではないが、文末は反実仮想。
- Q63. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「ね」（強調・打消結合） 解説：「夢こそは覚めないのだ」。
- Q64. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「吹く」（強調） 解説：「風が吹くのだ」。
- Q65. 答え：係助詞「か」＋連体形「む」（反語） 解説：紀友則。「あなた以外の誰に見せようか、いや誰にも見せない」。「ならで」＝「～でなくて」。
- Q66. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「残れる」（強調） 解説：「月が残っているのだ」。
- Q67. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「あはれなれ」（強調） 解説：「雪が降ってこそ風情がある」。
- Q68. 答え：係助詞「やは」＋連体形「異なる」（反語） 解説：「私とあなたとが違うだろうか、いや違わない」。
- Q69. 答え：係助詞「かは」＋連体形「らむ」（反語） 解説：「何を思うだろうか、いや何も思わない」。
- Q70. 答え：係助詞「ぞ」（結びの省略） 解説：「(ある)」が省略。「詠み人知らずなのである」。
- Q71. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「来たれ」（強調） 解説：「春が来たのだ」。
- Q72. 答え：係助詞「や」＋連体形「ある」（疑問） 解説：「私を知る人はあるか」。
- Q73. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「走る」（強調） 解説：「犬が走るのだ」。
- Q74. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「思はね」（強調） 解説：「今こそはもう思わない」。
- Q75. 答え：係助詞「か」＋連体形「らむ」（疑問） 解説：「どんな人がこんな目を見るのだろうか」。
- Q76. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「ぬる」（強調） 解説：「このように過ぎたのだ」。
- Q77. 答え：係助詞「や」（疑問・結びの省略） 解説：「どうしただろうか」。
- Q78. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「急がめ」（強調・推量） 解説：「暮れたようだ、急ごう」。
- Q79. 答え：係助詞「かは」＋連体形「む」（反語） 解説：「誰が来るだろうか、いや来ない」。
- Q80. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「長き」（強調） 解説：「月の出を待つ夜が長いのだ」。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

- Q81. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「をかしき」（強調） 解説：「とても風情がある」。
- Q82. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「侍る」（逆接） 解説：「私は思っているのに、人は知らない」。「こそ～已然形、」で逆接。

- Q83. 答え：係助詞「なむ」＋連体形「ける」（強調） 解説：伊勢物語。「道を知る人がいたのだ」。
- Q84. 答え：完了「ぬ」未然＋意志「む」 解説：連用形「帰り」＋「な」＋「む」。「早く帰ってしまおう」。係助詞ではない。
- Q85. 答え：終助詞「なむ」（願望） 解説：未然形「散ら」＋「なむ」。「散ってほしい」。
- Q86. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「おぼゆる」（強調） 解説：「とてもしみじみと思われる」。
- Q87. 答え：係助詞「や」＋連体形「けむ」（疑問） 解説：「思い知らずにいたのだろうか」。
- Q88. 答え：係助詞「か」＋連体形「む」（反語） 解説：「知る人がいるだろうか、いやいない」。
- Q89. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「さびしけれ」（強調） 解説：「物言わぬ世こそ寂しい」。
- Q90. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「こぼるる」（強調） 解説：「涙がこぼれるのだ」。
- Q91. 答え：係助詞「やは」＋連体形「惜しき」（反語） 解説：「命が惜しいだろうか、いや惜しくない」。
- Q92. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「し」（疑問の強調） 解説：「どんな御代であったのか」。
- Q93. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「つらけれ」（逆接） 解説：「人こそ薄情だけれども、世は恨めしくない」。
- Q94. 答え：係助詞「か」（疑問・結びの省略） 解説：「知らぬものは何（であるか）」。
- Q95. 答え：係助詞「ぞ」＋連体形「るる」（強調） 解説：「しみじみと思い知られる」。
- Q96. 答え：係助詞「や」（疑問・結びの省略） 解説：「この世のものは皆夢か」。
- Q97. 答え：係助詞「こそ」（結びの省略） 解説：「(さびしけれ)」が省略。
- Q98. 答え：係助詞「ぞ」（結びの省略・倒置） 解説：「寂しい」の強調。
- Q99. 答え：終助詞「なむ」（願望、他者への願い） 解説：未然形「行か」＋「なむ」。「行ってほしい」（他者）。係助詞でない。
- Q100. 答え：係助詞「こそ」＋已然形「名歌なれ」（強調） 解説：「あれこそ世に類のない名歌だ」。